



森下仁丹

報道関係各位

2016年5月16日

森下仁丹株式会社

阪本順治監督・最新作映画『団地』
【森下仁丹】×【映画『団地』】タイアップ企画
 2016年6月4日(土)から実施!
 先着5,000名様にオリジナル薬袋入「仁丹」をプレゼント

森下仁丹株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:駒村純一)は、2016年6月4日(土)より、映画『団地』とのタイアップ企画を実施いたします。

本キャンペーンは、6月4日(土)から公開の『団地』とコラボし、全国の対象劇場で先着5,000名様に山下漢方薬局の薬袋に入った「仁丹」バラエティケースを配布いたします。本作では、主人公の夫婦が漢方薬局を営んでいたことから、弊社とのタイアップ企画が決定いたしました。

《キャンペーン概要》

【開催期間】:2016年6月4日(土)～ ※なくなり次第終了

【対象劇場】:有楽町スバル座、新宿シネマカリテ等全国計16劇場

※劇場数が増える可能性有り

【キャンペーン内容】:全国の対象劇場でご覧いただいた先着5,000名様に「仁丹」を配布 ※お一人様1個限り

(山下漢方薬局の薬袋&仁丹の生薬解説書付き)の配布



※写真はイメージです

《『団地』概要》

【あらすじ】

家業の漢方薬局をたたんで団地に引っ越してきた主婦・山下ヒナ子(藤山直美)と清治(岸部一徳)の平凡な夫婦。腰は低いけどどこか世を捨てたような雰囲気、噂好きの住人たちは好奇心を隠しきれない。団地の住人たちは、調子のいい自治会長の行徳(石橋蓮司)と、その女房で“ゴミ監視役”の君子(大楠道代)、クレーマー気質で次期会長の座を狙う吉住(宅間孝行)に、暇を持て余した奥さま連中…。

ある時期からヒナ子の夫・清治の姿がぱたりと見えなくなり、周囲の住人たちの妄想は膨らむばかり。更に同じ頃、スーツ姿の男(斎藤工)がヒナ子の家を頻りに出入りするようになり、噂は更にエスカレートしていき…。

【脚本・監督】 阪本順治

【出演】 藤山直美、岸部一徳、大楠道代、石橋蓮司、斎藤工ほか

【製作・配給】 キノフィルムズ

【上映時間】 103分

【公開】 2016年6月4日(土)

【上映劇場】 有楽町スバル座、新宿シネマカリテほか全国39劇場

【公式HP】 <http://danchi-movie.com/>

※5/10現在



■「仁丹」とは

銀粒の「仁丹」は、1905年(明治38年)の発売以来、戦前は総合保健薬として、戦後は主に息や気分を爽やかにする口中清涼剤として、時代のニーズにあわせて弊社の看板商品として長きにわたって親しまれています。厳選された16種の生薬を配合しています。



【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 経営企画部 担当:磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
 共同PR株式会社 第六業務局 担当:長尾・広岡 TEL:03-3571-5236 FAX:03-3574-9364

【お客様からのお問い合わせ先】

森下仁丹株式会社 0120-181-109

